HULFT
CASE STUDY

HULFT

Stanley Electric Sales of America, Inc.

Stanley Electric
Sales of America, Inc.

倉庫と業務システム(Microsoft Dynamics)のファイル転送基盤にHULFTを導入。FTPで最大30分要した転送処理をわずか3分に短縮し、信頼性向上と業務リスクを低減

Stanley Electric Sales of America, Inc.

倉庫と業務システム(Microsoft Dynamics)のファイル転送基盤にHULFTを導入。FTPで最大30分要した転送処理をわずか3分に短縮し、信頼性向上と業務リスクを低減

人々の生活や社会を明るく照らす「光」を創り出す製品で社会に貢献するスタンレー電気。そのグループ会社の1つとして、主に米国地域の電子デバイス製品を中心とした販売を担うのがStanley Electric Sales of America, Inc.だ。入庫・出荷業務に欠かせないファイル転送基盤に課題を抱えていた同社は、その仕組みをHULFTで再構築した。これにより、ファイル転送の待ち時間を大幅に短縮し、タイムリーな入庫・出荷業務が可能になった。ミスやトラブルも軽減され、保守工数の削減によるコストメリットも期待できるという。

自動車照明や電子機器製品など「光」の可能性を追い求めて独自の製品を提供するスタンレー電気。その米国現地法人の1つであるStanley Electric Sales of America, Inc.は、スタンレー電気製品の販売を担う重要拠点。取り扱い品種はおよそ500種。商圏は北米、中南米全域をカバーする。

入庫情報が届かず入庫・出荷が遅れる不具合の復旧処理も大きな負担

効率的なビジネス運営を目指す同社が実践するのが、ジャストインタイムの経営である。在庫の極小化を図り、顧客ニーズに対して、素早く製品を手配する。入庫した製品を倉庫に留め置くのは最大でも2週間程度。保管作業や在庫スペースの最適化を図るのが狙いだ。

この取り組みを支えるのが、システムパートナーであるSunrise Logistics Solutions(America), Ltd.（以下、SLSA）が開発した「倉庫管理システム」と、Microsoft Dynamics GPをベースに構築した「業務システム」である。SLSAは長年にわたり、同社のビジネスをIT面からサポートする。

倉庫管理システムは製品の入出庫と在庫状況を管理する。一方の業務システムは入庫・出荷や出荷指示、それに紐づく伝票処理や会計処理などを統合管理する。「例えば、倉庫に入庫があれば、倉庫管理システムから業務システムに通知されます。その情報を集約し、お客様のオーダーに応じて、倉庫側に入庫・出荷指示を出します」とStanley Electric Sales of America, Inc.の塩田裕康氏は説明する。

相互にやり取りする情報は納品先・顧客名、品番、サプライヤーからの入庫情報、発送情報、入庫確認情報、出荷確認情報など。「システム間のファイル転送はFTPで行う仕組みでしたが、ポーリングの待ち時間などが重なると、1回の転送処理に最大30分程度かかることもありました」と同社のAmi Ken氏は語る。

倉庫に入庫されたことはメールや電話でわかっているのに、業務システムに入庫情報が反映されないため、入庫・出荷指示が出せない。「このタイムラグを何とか解消したいと考えていました」（Ken氏）。

情報のアンマッチによるトラブルの発生も懸念された。従来は転送処理が正常終了しても、データが欠落し受信側に正しく届いていないことがあったからだ。

その際のデータ復旧作業はSLSAが担当する。「品番から不具合データを探

Stanley Electric Sales of America, Inc.
代表取締役社長
塩田 裕康氏

Stanley Electric Sales of America, Inc.
CFO
Ami Ken氏

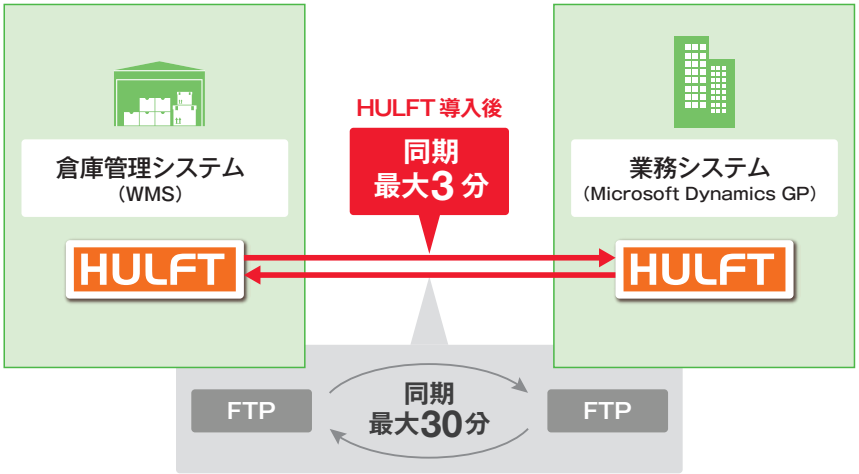
User Profile

Stanley Electric
Sales of America, Inc.

Stanley Electric Sales of America, Inc.

所在地
36 Executive Park, STE 230, Irvine, CA 92614 U.S.A.

事業内容
自動車機器製品、電子機器製品を製造販売するスタンレー電気の米国現地法人の1社として、半導体・超小形電球・電子機器製品などの販売を担う。商圏は北米、中南米全域をカバーする。



倉庫管理システムと業務システム間のファイル転送イメージ
業務システムから倉庫管理システムに入庫予定の通知がされる。倉庫への入庫があれば、その情報が倉庫管理システムから業務システムに反映される。業務システム上の最新データベースをもとに、倉庫に対して顧客情報や品番などを付加した出荷指示を出す仕組みだ。

し出し、再送処理を行いますが、その対処に手間と時間がかかっていました」とSLSAの茅根圭輔氏は述べる。

使いやすさと安定性を評価 運用管理の負荷軽減にも期待

同社は多い時で1日100件以上の入庫・出荷処理をこなす。ファイル転送の待ち時間や情報のアンマッチの解消は重要な業務課題である。そこで同社は倉庫の移転を機に、ファイル転送基盤の刷新を計画。そのためのソリューションとして、SLSAから提案されたのが、セゾン情報システムズのデータ連携ミドルウェア「HULFT」である。

HULFTはファイル転送を自動化し、各種業務アプリケーションとのシームレスなデータ連携を可能にする。すぐに同期がとれるため、ファイルをまとめて転送する必要がない。1回当たりのファイル転送量が小さくて済むので、処理結果も確認しやすい。

多様なプラットフォームに対応するため、既存資産を活かして容易に導入できるのも大きなメリットだ。システム開発の手間を極小化し、コストも最適化できる。「ファイル転送ツールとしての使いやすさを高く評価しました」と茅根氏は選定の理由を述べる。

トラブルの影響範囲の最小化にも有効だ。HULFTはファイル送受信時にトラブルが発生した場合、後続の処理を自動的にストップできる。トラブルのあった処理を修正し再送すれば、後続の処理は自動で再開される。「以前はトラブル発生前後のデータを確認する必要がありました。エラーログが見やすいので、トラブルの原因も容易に把握でき、運用管理の負荷軽減につながります」(茅根氏)。

安定性も高く評価した。本格導入前には、およそ1カ月にわたり連続稼働を実施。課題の洗い出しを行ったが、トラブルなく安定稼働を継続した。「HULFTはファイル転送のデファクトスタンダードで実績のあるツール。自前でファイル転送の仕組みを作り込むより、リスクが少なく、安心して運用できると判断しました。安定しているから同期間隔を安心して短くできるのです。」と茅根氏は話す。

タイムリーな入庫・出荷業務を実現 業務リスクを低減し信頼性も向上

こうして同社は2014年10月中旬より、倉庫管理システムと業務システムをつなぐ新たなファイル転送基盤としてHULFTの本格運用を開始した。これにより、同社は様々なメリットを実感している。

まず挙げられるのが、業務効率の向上だ。「現在はファイル転送に要する時間は最大でも3分程度。待ち時間が劇的に短縮されています」と話すKen氏。倉庫に入庫があれば、その情報が業務システムにすぐに反映されるので、その最新情報をもとに即座に出荷指示を出すことができる。「実際の在庫状況とシステム上のデータの“ズレ”が解消されたので、ムダな待ち時間がなく、タイムリーに業務を遂行できます。社員のイライラも解消され、スムーズに業務が回るようになったと現場では好評です」とKen氏はメリットを語る。

万が一、ファイル転送時にトラブルが発生した場合は、後続の転送処理を自動的にストップするので、業務への影響も最小化できる。入庫・出荷のミスを防げる上、データの修正も即座に行える。特に月末は締めの作業で多忙を極める。「従来はトラブルの復旧が後々尾を引き、締めの作業ができなくなる恐れがありましたが、現在はそうした懸念は払しょくされています。業務リスクを大幅に低減できました」と塩田氏は満足感を示す。

トラブルが減れば、解析や復旧作業

に要する工数も削減できる。結果的にシステムの保守費用を低減し、コスト削減にもつながる。今後はデータの送受信が必要な他業務の見直しも視野に入れ、HULFTの適用範囲の拡大を模索していく。

HULFTの活用により、大幅な業務効率化を実現したStanley Electric Sales of America,Inc.。倉庫管理システムと業務システムのタイムリーなファイル転送処理を支えるHULFTは、同社の業務基盤の1つとして重要な役割を担っている。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示（TM、®）を付記しておりません。

SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.

［お問い合せ先］
株式会社 セゾン情報システムズ
HULFTフリーダイヤル 0120-80-8620
※利用時間　9:15～17:45（土・日・祝日および年末年始を除く）

HULFT事業部
〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301　FAX 03-3980-4830

西日本営業部
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル 4F
TEL 06-6479-1151　FAX 06-6479-1152

名古屋営業所
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591　FAX 052-588-5592

九州サテライトオフィス
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勧博多駅前ビル
TEL 092-434-4527　FAX 092-434-4528

URL http://www.hulft.com/　e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2015年7月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。

201507-3000-1